

第 175 回 第二次世界大戦④

1 戦後に向けて

・勝利を決定的にした連合国は、戦争終結前から戦後の世界についての話し合いを行っていた。

- ・1944 年 7 月、戦後の経済の枠組みについて（ ）が開かれた。
→戦後に、国際通貨基金（IMF）と国際復興開発銀行（世界銀行）を設立することを決定した。
→アメリカの通貨（ ）と、金やその他の国の通貨との交換比率（為替相場）を固定することで（固定相場制）、貿易や通貨の安定を確保することとした。
※このドルを基軸通貨とする体制を（ ）という。
- ・1941 年の大西洋憲章、1942 年の連合国共同宣言、1943 年のモスクワ宣言を受けて、1944 年 8 月、アメリカでダンバートン=オークス会議が開かれた。
→戦後の（ ）の創設にむけて、国際連合憲章の原案がつけられた。

2 日本の絶望的な戦いとドイツの降伏

- ・1944 年 7 月、（ ）が陥落し、日本の守備隊が玉砕した。
- ・1944 年 10 月、レイテ島が陥落し、しばらくして（ ）も奪回された。

- ・1945 年 2 月、（ ）が陥落し、日本の守備隊がほぼ全滅した。
※戦力が足りなくなった日本は、このころから（ ）や人間魚雷など、絶望的な戦術をとるようになっていった。



バンザイ・クリフ

サイパン島には2万人の日本から移住した民間人がいた。岬に追い詰められた日本人は、次々に飛び降り自殺をした。



映画『硫黄島からの手紙』

栗林中将が率いる守備隊は、硫黄島に上陸したアメリカ軍を攻撃し、大きな被害を与えた。興味がある人はこの映画を観よう。



特攻隊の兵士

特攻隊の多くは10代後半から20代前半の若いパイロットであった。彼らは何を思って死んでいったのだろうか。

- ・1945 年 2 月、（ ）・（ ）・（ ）が（ ）を行い、ヨーロッパの戦後処理が話し合われた。
→（ ）が結ばれた。

- ・1945 年 5 月、ドイツの首都（ ）が陥落し、ドイツは無条件降伏した。



ヤルタ会談

クリミア半島の保養地ヤルタで、ドイツ降伏後の処置や、ソ連の対日参戦などが決められた。病身のローズヴェルトは、ソ連に大幅な譲歩を行った。



映画『ヒトラー最後の12日間』

降伏寸前のドイツとヒトラーの様子については、この映画がおもしろい。ブルーノ=ガンツの演技には狂気すら感じる。



ベルリン陥落

燃えさかるベルリンの町に、ソ連の国旗をかける兵士。なおヒトラーは陥落直前の4月30日に自殺したとされる。

3 日本の降伏と第二次世界大戦の終結

- サイパン島陥落後、日本本土への空襲が激しくなった。
※3月10日にはいわゆる東京大空襲が行われ、8万人以上が死んだ。

- 1945年4月、アメリカ軍は（ ）に上陸した。
→激しい戦闘の末、守備隊は6月にほぼ全滅した。
※その際に多数の住民が巻き込まれ、多くの犠牲者を出した。

- 1945年7月、（ ）（ ） → （ ）（ ）
がベルリン郊外で（ ）を行った。
→ドイツの非ナチ化や共同管理などを定めたポツダム協定を結んだ。
→さらに米・英・中の3国の名で（ ）を発表し、日本に無条件降伏を迫った。 ※ソ連は参戦後に参加。
→日本は天皇制の維持（国体護持）にこだわってこれを黙殺した。



B-29

アメリカの爆撃機B-29は、高度1万メートルの高さから雨のように爆弾を投下した。死者は少なくとも25万人とされる。



ひめゆりの塔

約10万人の民間人が犠牲となったが、女子高生による看護部隊ひめゆり部隊は、その悲劇の象徴とされている。



ポツダム会談(前半)

左からスターリン、トルーマン、チャーチル。しかしチャーチルは選挙で敗北して首相の座を降りたため、途中からアトリーに代わった。

- 1945年 月 日、アメリカは（ ）に原子爆弾を投下した。
→ 月 日、続いて（ ）にも原子爆弾を投下した。



被爆直後の原爆ドーム

B-29(エノラ=ゲイ号)が投下したウラン型原爆リトルボーイは、広島県産業奨励館の上で炸裂した。現在この建物は、原爆ドームとして世界遺産に指定されている。



長崎に投下された原爆

当初の投下目標は九州の小倉であったが、天候不良のために長崎となった。現在も多くの人々が、原爆の後遺症に苦しんでいる。



『はだしのゲン』

原子爆弾の悲劇というと、多くの人がこのマンガもしくはアニメを思い出す。小学生の時に観てトラウマになった人もいるらしい。

- 8月8日、ソ連は（ ）を一方的に破棄して日本に宣戦布告した。
→満州・朝鮮半島・樺太などに侵入し、多くの地域を占領した。
※多数の民間人が犠牲となり、中国残留日本人孤児の問題が残された。また捕虜となった兵士の多くは（ ）などで強制労働をさせられた。

- 年 月 日、日本はポツダム宣言の受諾を公表し、無条件降伏した。
→これにより第二次世界大戦は終結した（なお正式な終了は9月2日）。



ソ連の満州侵攻

150万人のソ連軍が、満州などに大規模な侵入した。ソ連軍は8月15日以降も侵攻を続けたが、これは北方領土問題を引き起こすことにある。



玉音放送

8月15日正午、天皇はラジオを通じて、ポツダム宣言の受諾、つまり日本の敗戦を国民に知らせた。写真は皇居前で呆然とする人々。



降伏文書調印

9月2日、アメリカの戦艦ミズーリの甲板上で、日本政府全権として降伏文書に調印する重光葵。世界では、この日を戦争終結の日と考えている。